

ちば通研だより No.505

千葉県手話通訳問題研究会（発行責任者）米田 市子（編集者）渡辺 正夫
住所：〒260-0022 千葉市中央区神明町 204-12 千葉聴覚障害者センター内
FAX：043-247-1201 E-Mail：syuwa@nifty.com URL：<http://syuwa-chiba.la.coocan.jp>

2025年度 ちば通研講座 ～きこえない子を育て関わっての経験談です～

いよいよ2025年度のスタートです！

毎年、ちば通研の定期総会後に講師を招聘してちば通研講座を開催しております。今年も、皆さまから要望が多かった南村洋子氏をお招きして下記のとおり開催します。詳しくは、講座のチラシを参照してください。きっと子育てのヒントをもらえると思います。

2025年度の会費を早めにお振込みいただき、お申し込みください。

一般の方もお誘いの上、是非一緒にご参加ください。お待ちしております。

<ちば通研講座>

日時：2025年4月20日(日) 13:30～15:30

会場：千葉聴覚障害者センター3階多目的ホール + オンライン

講師：南村 洋子（みなみむら ひろこ）氏（都立大塚ろう学校で乳幼児相談員）

テーマ：「きこえない子を育て関わる中で、今、思うこと」

参加費：2025年度会員・きこえない人は無料、一般は2,000円(口座振込で)

その他：会場+ハイブリッドで開催します。

※当日会費を払ってくださった方も会員扱いとします。この機会に是非会員になりましょう！

3月25日時点でのちば通研の会員数は126人
(読者会員会員数は3人)
2025年度の目標数は350人です
数は力！みんなで会員を増やしましょう～



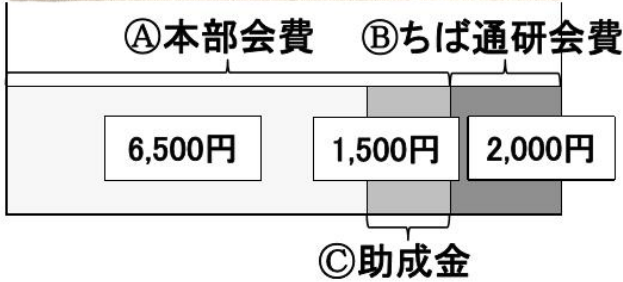
しゅわりん

みんなで知ろう！ 考えよう！「会費」について

「みんなで知ろう！考えよう！会費と活動」をシリーズで掲載したのが2017年。今から8年前でした。当時、収入の激減で赤字が続いており、「このままではちば通研は破綻してしまう！」と、定期総会で皆さんに窮状を訴えました。すると、「みんなで助け合って何とかしようよ」「ここは削れるのではないか」といった、あたたかくて心強いアイデアをいただくことができました。サポーターズはそんな会員さんたちの声から生まれました。



「しゅわりん」



あれから8年。新しい仲間も増えました。今月は定期総会が開催されます。そこで、改めて、皆さんと一緒に会費について考えたいと思いました。

皆さんからいただいている会費の1万円は、8,000円が本部(全通研)に納められます(①)。そのうち、本部から支部へ助成金として1,500円が支給されます(③)。ちば通研は、一人当たり3,500円で運営しています。(②+③)。



これからもたくさん、ちば通研を応援、宣伝するよ～！

2020年、新型コロナウイルス感染拡大による活動制限、その後オンラインによる活動を進めたことで、赤字は解消されましたが、物価上昇の影響もあり、厳しい状況は続いています。

2024年度は会計を見直すとともに、地区の協力を得てハイブリットによる地区講座を開催したり、海苔やあさりの佃煮、缶バッジ、キーホルダー等、仲間のア

アイデアを形にして販売したりすることができました。ちば通研のマスコットキャラクター「しゅわりん」も大活躍してくれました。

皆さん一人ひとりが主体的(「全員主役」)に、きこえない人たちとともに学び活動できるちば通研であり続けるために、会費についても一緒に考えていきましょう！

(副会長 高橋 悦子)

お便りコーナー



ちば通研だよりのデータ配信について質問です。

以前、私が役員だった頃は「専従事務員がいないのに誰がやるの?」「誰のPCでやるの?」という意見があり、データ配信は未実施でした。

この2点をどうクリアして現在に至っているのでしょうか?それが分かれば、データ配信利用者が増えると思います。(スナネズミ)

ご質問、ありがとうございます。

現在、データ配信の方法としては、①~③があります。

- ①「ちば通研だより」をホームページの会員専用ページに掲載
- ②データ配信希望の申し出があった際、①を広報部長より連絡
- ③①を見ていただくタイミングは、地域班 ML にてサポーターズの作業の様子と合わせて周知ご指摘の通り、地域班 ML への連絡は役員個人のアドレスを使っているという課題があります。役員会で検討を続けています。

「データ配信」という表現から、「ちば通研だより」のデータを一人ひとりにメールで送っているのではないかと、個人情報の流出、セキュリティーを心配される方もいらっしゃると思います。今後も安全性の確保に努めつつ、よりよい方法を考えていきたいと思います。この分野に強い方!ぜひ、お力をお貸してください。



※「ちば通研だより」の投稿は、ニックネーム OK としております。ただ、ご質問の意図が汲み取れなかったり、ご質問への回答がこれで十分なのかを確認させていただいたりするために、投稿の際、お名前とご連絡先を添えていただくと助かります。みなさまからのご意見、ご質問をお待ちしております。(事務局長 折原 由紀子)

班員大募集!

ちば通研には、研究部の中に専門班として「医療班」「健康対策班」「楽しく未来社会学習班(TMG)」「保育・子育て支援班」「ろう教育班」「労働班」があります。

専門班は定期的に学習会をオンラインや対面にて開催しています。会員であれば誰でも参加できます。それぞれの班員を募集しています。

(専門班の学習会の開催日は、ちば通研のホームページをご覧ください)

また、組織部に「N-Action ちば」、そして「ICT ちば」のチームがあります。若い人や情報発信などに興味関心があり、その技術のある方を募集しております。

最後に広報部では Word ができる編集員とホームページの作成やその技術のある方を募集しています。

皆さまのお力をどうぞお貸してください。よろしくお願ひします。

連絡先:ちば通研事務所(syuwa@nifty.com)

「福祉の現場を経験して しろろが語る！」 Vol. 1

「自己紹介」-大阪万博の思い出

「省察」という言葉があります。福祉の業務に関わるようになって約半世紀を迎えた今、私はこの連載を機に過去の福祉をめぐる時代背景を改めて振り返ってみたいと思います。

2025(令和7)年の大阪万博が近付いていますが、前回の国内開催は53年前の1970(昭和45)年のことでした。会場は千里ニュータウンでアメリカのアポロが地球に持ち帰った「月の石」の展示が話題を集めました。この時私は14才(中2)。鹿児島島の片田舎に住んでいましたが、当時大阪にいた叔父が「遊びにおいで」と誘ってくれたのです。人生で初めての大都会。大阪城・道頓堀・生まれて初めてボウリンクも経験しました

万博の魅力は「動く歩道」やアメリカ、ソ連、カナダ、英国等の各パビリオンの他、日本の一流企業が建てた個性豊かな特殊建築物(三菱未来館・東芝IBM館等)でまさに夢のテクノロジーの世界でした。外国人客も多く、私は年の近い従弟たちと(習いたての英語を使いたい年頃でしたので)サイン帳を買い、「万博を訪れた外国人からどれだけ多くのサインをもらえるか競争しよう」と言うことになったのです。

初めて遭遇した「黒人差別」の実態

広大な万博会場ですれ違う外人さんをつかまえては「ギブミーサイン」ともちかけ、多くの方は快くサイン帳にサインをしてくれました。その内の何組目かに、仲のよさそうな白人と黒人の二人組に遭遇し「ギブミーサインプリーズ」とお願いしました。先に黒人の若者がサインをくれました。次に白人の若者の方にサインを求めたところ、ちょっと怪訝な顔をされたのです。 ↗

その後サイン帳のページをめくって新しいページによろやくサインをしてくれました。私はその理由が理解できませんでしたが、それは「白人は黒人と同じページにサインはしない」という意思表示だったようです。少年の私にはこれが人種差別とは想像もつかず、その後しばらくの間違和感に包まれながら過ごしました。

私たちはよく「基本的人権」とか「個人の尊厳」とか口にしますが、世界では今でも同様のことは起きています。先日テレビの報道番組(アイルランドのニュース)で女子の体操競技ジュニアクラスの大会で優勝したチームの選手一人一人にプレゼンターがメダルを授与するシーンが映っていました。その中に一人だけいた黒人の女子には金メダルの授与がされず、ひとり飛ばして次の白人の子にメダルが授与されたのです。メダルをかけてもらえなかった黒人の女の子は今にも泣きそうな悲痛な顔でプレゼンターの女性を見つめていたのです。

【※万博会場にて:写真中央が私です↓】



(黒岩 史郎)

次回に続く⇒



医療班コーナー

看護師のお仕事

「看護師さん」と聞いて思い浮かぶのは、病院や医院、クリニックなどの医療機関で働いている姿だと思います。

看護師の仕事は、医師の指示のもと、患者さんの健康状態を把握して療養上の世話や治療の補助を行うことです。また、患者さんが安心して治療を受けられるように医療スタッフ、患者さんやご家族に寄り添い、コミュニケーションを円滑にすることも重要な役割です。

看護師としての活躍の場は多岐にわたります。

- ・ 医療機関 ・ ・ 病院、診療所（医院、クリニック）
（診療の補助・採血・心電図などの検査・バイタルサインの測定など）
- ・ 行政機関 ・ ・ 保健所、保健センター、地域包括支援センターなど
（健康相談・小児の検診、育児相談・高齢者の介護や福祉相談など）
- ・ 地域 ・ ・ 老人保健福祉施設、障がい児(者)施設、保育園、訪問看護ステーション、
訪問入浴事業所など
（健康状態の把握・バイタルサインの測定・感染対策など）
- ・ 企業 ・ ・ 企業の健康管理室など
（健康管理や予防看護・メンタルヘルス対策など）
- ・ 教育、研究機関 ・ ・ 看護教育機関、看護学研究施設など
（看護大学や看護学校の教師・看護学の研究など）



※バイタルサイン⇒体温・血圧・脈拍・呼吸・酸素飽和度など

看護師には准看護師と正看護師があります。

- ・ 准看護師 ・ ・ 准看護師の養成学校(2年)卒業し、都道府県の試験に合格することが必要です。
- ・ 正看護師 ・ ・ 看護大学(4年)、看護短期大学(3年)、看護専門学校(3年または4年)、准看護師取得後さらに2年看護師養成課程校などを卒業し、国家試験に合格することが必要です。

専門看護師や認定看護師として、さらに専門的な知識と技術を習得し、特定の分野でのスペシャリストとして、活躍しています。

- ・ 専門看護師：がん、精神、地域、老人、小児、母性、慢性期疾患、急性・重症患者、感染症など
- ・ 認定看護師：救急、集中ケア、緩和ケア、がん性疼痛、がん化学療法、訪問、透析、不妊症、摂食・嚥下障害、小児救急など

～健康対策班～

まだ寒い日も…西風が吹き良いノリが育つかな!?!…

落のとうが顔を出し天ぷらが食卓に、ほったらかしでも冷たさの中、葉が伸び水仙が咲き、その強さに感激して…と自然の様子と共に過ごす今日この頃です。

街中に暮らし、まして仕事をしていた頃の私は、日々に追われ余裕もなかったと…今頑張っている皆さんも同じでは??

たまには周りに目を向けて…

そして疲れていたら、いつでもお休みに来てくださいね!!

(川根 薫)



*写真は川根薫さんの友人の父三澤さん提供

デフリンピックが11月に開催 (その2)

東京で国際スポーツ大会が2つ開催されます。一つは9月の世界陸上。そして、もう一つが11月のデフリンピックです。この2つの大会では、「東京2020大会のレガシーを継承・発展」「2025年を機に、新たなレガシーを創出」などのコンセプトのもとさまざまな取り組みがされています。

5つの柱を紹介します。

- ① みんながつながる 「いつでも・どこでも・誰とでも」つながる街・東京へ
- ② 世界の人々が出会う 伝統と革新が共存する街・東京を発信し、世界との絆を深める
- ③ こどもたちが夢をみる 子供たちがスポーツから多くを学び、多様な価値観を育む
- ④ 未来へつなぐ たくさんの国際スポーツが楽しめる街へ
- ⑤ みんなで創る スポーツを通じてつながる街・東京へ

2つの大会を通じて東京都が目指す姿や取り組みの方向性などは右のQRコードをご覧ください。(東京都生活文化スポーツ局)



さて、東京都が昨年募集したデフリンピックのボランティアでは約3千人のところ約6倍の18,903人の応募がありました。今後抽選して3月下旬を目処に通知がされることになっています。当選された会員の方はちば通研事務所までお知らせください。



私のイチオシ …白井班…

白井班の「手話との出会い」と「お勧め」をお届けします！

「手話との出会い」

・私の手話との出会いは大学生の時、サークルの先輩に手話サークルに連れていかれたのがきっかけでした。その後、何回か通っていたらろうの方に参加したことを感謝されたと同時に地元の手話サークルに行くことを勧められました。早速、地元のサークルに通い、結婚後、場所は変わりながらも今日まで手話との関わりは続いています。地元で知り合ったろうの方々といつまでも手話で話せる自分でいたいという思いで育児や仕事の関係で中断しながらも何とか続けています。(M)



「お勧め」

・健康法で7時間の睡眠です。簡単なようですが仕事が忙しい人又はテレビ、インターネットなど娯楽があふれた現代では難しいのではないのでしょうか。また心配事や悩みごとで眠れないから体調を崩すなんてことも。体だけでなく心も元気になるのが睡眠だと思います。友達に教えてもらったもう一つの大事なことは寝る時間帯で夜10時台に寝ることです。実践してみると体も心もついでにお肌も調子いい。毎日は無理でも心掛けるだけでコスパも良い健康法です。(Y)

・念願のスノボをしてみた。もちろんスクールに入って。グルーブレスンでは、他の方々の足手まといになってしまうので、個人レッスンで。プロのインストラクターは教え方がすばらしいが、褒め方はもっとすばらしい。私なんてとか、もう歳だしとか、後ろ向きな私が出現する暇もないくらい、いい気分を過ごせた。まだピタッと止まれないこともあって、スピードが出ると怖いけど、とても楽しい。尾骨を強打したこともあったけど後悔はしていないし、また行きたいと思っている。やりたいことは歳に関係なくやらなきゃ！と強く思っている。(T)

・皆さんにオススメしたい物は「数独」です！ ナンプレとも言われるパズルで縦・横・3×3のマス目その全てに1～9の数字を1つずつ入れていくのです。初めは食わず嫌いで新聞に載っていても全く手を付けた事が有りませんでした。友人の勧めで一度挑戦してからどハマリしました。何も考えず無心で解いた後のスッキリ感は最高です！今はスマホ等でも簡単に出来る様ですが、私のオススメは紙媒体に鉛筆又はシャープペンシルで書き込んで行くタイプです。難易度の高い問題で行き詰まった時には、ちょっと休んで他の問題に挑戦してから戻って来ると意外とスラスラ解けたりします。騙されたと思って皆さんもぜひチャレンジしてみませんか？(S)

・NHKの「週刊手話ニュース」がお勧めです。ずぼらな私にとって一週間のニュースを20分と手ごろな時間でみられる上に手話の読み取り勉強にも！なんて素晴らしいのでしょうか！スマホにNHKプラスをインストールするといつでもどこでも見られます。ぜひお試しを。(S)



←白井市のマスコットキャラクター
なし坊ファミリー

地域班通信

成田班：今日この頃、3月3日から急な寒さになりました。凍えそうな寒さにふと梅の花が目に入りました。年度の終わりに近づいてきたなあ～と思いました。今年はデフリンピックもある年なので昨年よりも忙しい年になるのかな？ 地域班やサークルも細長く続けていけたらと思います。成田市は成田空港や成田山新勝寺など観光がいっぱいあるのでぜひ、遊びに来てください。(山谷)

船橋班：全日本ろうあ連盟の結成の地、伊香保温泉へ。時間の関係で記念碑は車窓からの見学だったけど、「歴史」「現在」「未来」の意が込められた記念碑を見て、ここが原点かと感慨深かった。映画「段また段を成して」ロケ地を手話で巡る伊香保温泉マップを地元の市聴障協が発行している。次回は、スマホ片手にゆっくり観光してみようかな。(KN)

白井班：オルレアの芽が庭を覆い始めました。この花、一本の茎からたくさんの花が咲き、更に一つの花からたくさんの種が出来るので、こぼれ種で翌年には庭を覆いつくすほどになります。高さも60cm以上になり、レースの絨毯のごときです。開花が楽しみです。

富里班：3月、4月は卒業式と入学式と大忙しのご家庭も多くみられます。我が家もその一軒です。孫の卒業式に袴を着せて卒業を祝い、入学式には、真新しい制服を着て、新しい学校生活に送り出すという、ドタバタ劇になっているでしょう。孫の成長を見ていて感じたことがありました。千葉通研に2年間在籍しましたが、何も成長していない自分が情けないですね。

印西班：ひと針ひと針ゆっくりと縫っていく。細かい作業である。私の趣味はクロスステッチ刺繍。隙間時間をみつけては何か月もかけて大作に挑んでいる。集中している時間はとても充実していて楽しい。やっと完成し作品を眺めていると達成感を感じる。そして又次のスタートラインに立つ。これは、さまざまな事に通じている。(Y)

千葉市班：山梨支部さんにお誘いいただき、健康対策班の皆さんと一緒にオンラインヨガにお邪魔しました。先生の心地良い声かけに、心と身体を解放し、気持ちよ～く縮こまっていたあちこちをくうううと伸ばせました。みんなとつながって、一緒に自分を労わることのできた貴重なひと時でした。

鎌ヶ谷班：春ですね～。春になったのは嬉しいのですが、私も40年来花粉症とのお付き合いが続いています。毎朝くしゃみ、鼻水、鼻もかゆいし... これが5月連休前まで続きます。それでもやっぱり桜の時期はいいですね～。(AF)

六つ星班：4月は新しい出会いの季節。私は初めて「ユニカール」という競技に挑戦しました。氷の上ではなく室内で楽しめるカーリングのようなスポーツで、思った以上に奥が深く、夢中になりました。新しいことを始めると、思わぬ発見や楽しさが広がります。みなさんも、この春をきっかけに新しいことにチャレンジしてみたいはかがでしようか！

市原班：去る2月23日(日)に市原市ろうあ協会創立40周年記念大会が開催されました。式典・記念講演・アトラクションと充実した内容で、楽しみました。周年行事を企画運営する力のある協会に頭が下がりました。10年後の50周年も手話サークル員として参加できるといいな。その頃にはAIが手話通訳していたりして!?

流山班：男女雇用機会均等法の第一世代の私が定年を迎えました。61歳で定年となり、再任用で残ることになっています。55歳で昇給停止、60歳で役職定年&給料減額、定年後は、さらに給料が減ります。この1年は特に本当に短かった。これを書いている今日は国際女性デー。新聞の記事や投書欄が心に染み入りながら読みました。(emiko)

わかしお班：先日初めてコロナに感染しました(涙)。最近ワクチン打ってないもんなあ、でも熱は37度前半、咳もなく喉も痛くない…。友達は、「何も食べられないで5キロ痩せた」「咳で眠れない」と言っていたのに。ドクターも「軽く済みそうね」、その通りでしたが全く痩せず…逆に栄養取らなきゃ、と太ったくらいです。喜ぶべきか、悲しむべきか…。(KK)

かずさ班：2024年6月で創立50周年を迎えた全通研。「継続は力なり」ですね。シンボルマークを考案した千葉支部の高橋みづほさんが表彰され、うれしかったです。私も65年という年齢を重ね、3月の誕生日の前には、年金の通知や介護保険証が届きました。2025年の抱負は「スローライフ」健康に留意し微力ながら継続していきたいと改めて思いました。(K.H.)

八千代班：3月8日(土)地域ろう協と共同で防災学習会を開催。講師に県サ連の外口会長をお招きし、DIG(災害図上訓練)を行った。映像の指示と班内の協力で一つずつ課題をクリア。各班の通研会員が手話初心者とろう者をつなぎ、活発な話し合いが進んだ。最終発表から見えてきたのは… 発災直後は自分の命を守ることが一番大事。だから災害の備えをしっかりとしておく必要があること。サークル員は特に「支援」の気持ちが強いが、まずは自分の生活を守ること。当たり前のことでも自分たちで導き出した結論は記憶に残る。また、サークル員でもある市議から市の防災に関する方針(在宅避難推奨)と備蓄等についての説明もあり、盛りだくさんの学習会となった。

海匠地域班：西海匠ろう協会の主催で、4月12日(日)13時から15時、(株)プラスヴォイス代表取締役三浦宏之氏の講演に参加予定。テーマは、能登半島地震を通して「災害時の情報保障や支援について」です。とても良い企画ですね。ただし会場には定員があり、希望多数により会場変更もあるとよいです。またご報告させていただきます。

松戸班：今年度最後の例会は「一年間の反省」をしました。各月の担当者や参加者から感想や意見等が出され、講演会にサークル員の参加が多数あった事や内容が好評だった事が話されました。会員拡大に期待です。また、「松戸班の今昔」と称して歴代班長さんに当時の様子を語っていただきました。話の一つにろう運動が出され、「あの頃はろう協のメンバーも我々も若かった。」と昔話で盛り上がりました。参加者は13名でした。
(kok)

市川班：仕事帰りにふと見ると市川市の桜の名所、真間川の桜並木に提灯の設置作業をしているのを目にしました。地下鉄の看板にも桜まつりのポスターが。春が来たぞ！でも「桜まつり」って花の開花や散り際がズレてますよね。コロナ前はテキ屋さんがたくさん出店されていましたが、今年度はいかが？楽しみです。

習志野班：3月といえば、ひな祭り、私の誕生日（笑）、桜の開花など春を感じる時ですね。私の誕生日のお祝いはずっとひな祭りと一緒でした。ちらし寿司と桜餅を今年もいただき、無事？一つ年を重ねました・・・ 今年は念願の勝浦のお雛様を見ることができました。

第44回 耳の日まつりに参加して

寒い一日でした。仲間は防寒バッチリ。脂肪が役にたちませんでした。

医師の今川竜二氏の講演は医療現場に幅広く携わってみての体験談でした。ろう者としての苦労話、知ってもらおう努力等映像からもわかりやすかったです。聞こえる人と聞こえない人の架け橋になろうという心情が伝わってきました。

印象に残ったこと

- ・小学1年から医師になりたいという夢を実現。凄い、拍手！
- ・診察は音を文字にする音声認識アプリや筆談
- ・文字アプリを使っても表情を見ながら診察
- ・聴診器は音ではなく波形を見ながら使う
- ・相手が安心して話せるよう心がけている

★かつては法律で聴覚障害者が医師になることを禁じていましたが2001年医師法が改正され夢を叶うことができ良かったと思いました。聞こえない人の表情も見ないでパソコンに向かっている聞こえる医師が多いので見習ってほしいと思いました。笑顔で寄り添っている姿が患者さんたちにとって一番だと感じました。

第2部のよさこい鳴子踊りはとても素晴らしく元気をもらえました。

手品も良かったです。

医療班・県薬剤師会コーナーでは一喜一憂

- ・血圧・野菜接種状況測定器・お肌の水分量測定（乾燥？潤い？）

ちば通研の新しい試み 缶バッジ とてもよくできていて好評でした。

来年は館山で開催。泊りがけもいいですね。



【新作 缶バッジ】

(印西班 宇治 昌子)

役員短報

日時：3月23日（日） 9:30-12:00

会場：オンライン

参加者：13人

<主な議題>

○三役

- ・役員改選について
4月6日（日）に最終確認する。
- ・代議員について
会員からの候補者がなかったので、役員から4人を選出する。
- ・議案書について
役員会にて確認した。
- ・全国ろうあ者大会について
2年後の千葉開催を見据えて下見をする予定。

○広報部

- ・5月号掲載記事の確認

○組織部

- ・会員拡大 328人（3月23日現在）
- ・ちば通研講座について
南村洋子氏 講師依頼書を送付。
- ・定期総会の案内文書について
会場、集団視聴、個人視聴の3つの方法で開催する。
案内文書をホームページおよび地域班MLにて早めにお知らせをする。

<部・班の報告>

○三役から

- ・情報提供施設事業運営委員会
3月12日（水） 会長が参加。
- ・耳の日まつりについて
盛況だった。缶バッジなど好評だったので今後も販売していく。

○広報部

- ・データ配信希望者 99人

○組織部

- ・地区講座（中央） 千葉コミ
2月22日（土） 上條文裕氏
参加者 23人

- ・習志野班学習会 中央公民館
3月12日（水） 北原洋貴氏
参加者 31人

※2024年度の学習会などが終了。

○医療班

- ・耳の日まつり
3月15日（土） 千葉市民会館
初めて千葉県薬剤師会と健康相談ブースを設置した。

○労働班

- ・3月16日（日） 学習会開催
参加者 3人

○事務局

- ・デフスポーツ・サポーター団体登録を検討する。一般への呼びかけをする。
- ・3月29日（土） 事務局会議
- ・2025年度会費納入者 100人
早めの送金をお願いします。

○後援会

- ・3月15日（土） 耳の日まつり
ご協力ありがとうございました。

○関東手話通訳問題研究会

- ・4月27日（日） ブロック別会議
- ・5月10日（土） 関東通研総会
- ・創立20周年記念誌 会員に配布予定。

今後の予定

- 4月6日（日） 役員会
- 4月7日（月） 議案書など集荷
- 4月19日（土） 組織部会議
- 4月20日（日） 総会・ちば通研講座
- 4月22日（火） 広報部会議
- 4月25日（金） サポーターズ印刷日
- 4月26日（土） 役員会
N-Action ちば学習会
- 4月27日（日） 関東ブロック別会議
医療班学習会

お知らせ

○ちば通研ホームページにアクセス
アドレスは以下のとおりです。

<http://syuwa-chiba.la.cocacn.jp>

QRコードでホームページに
アクセスできます。

会員専用ページは
パスワードが必要です。

○ちば通研へのお問い合わせ
ちば通研への連絡は下記の

E-Mail: syuwa@nifty.com

○原稿募集

原稿掲載にあたり、150字程度でお名前は本名
もしくはニックネームを明記。

次号の原稿締切は4月15日(火)です。

E-Mail: c-koho@c2ken.sakura.ne.jp

FAX: 043-247-1201(早朝・深夜は不可)



会費の納入のお願い

2025年度の会費納入をお願いしています。

会費は振込にてお願いいたします。振込先は以下の
とおりです。なお、申し訳ありませんが振込手数料は
ご負担ください。複数人まとめての納入は、全員の名
前をご記入ください。

○年会費

会費 10,000円

読者会員 6,500円(聴覚障害者のみ)

○郵便振込先

口座番号: 00120-4-708239

加入者名: 千葉県手話通訳問題研究会

※ゆうちょダイレクトで振込の場合は、月5回まで
無料です。

けいわん 110 番

<医療的な相談窓口>

滋賀医科大学社会医学講座(衛生学)

TEL: 077-548-2187

FAX: 077-548-2189

<仲間を守る取組みに関する相談窓口>

FAX: 057-451-3281

*何かありましたら、いつでも、ちば通研健
康対策班に、ご相談ください。

FAX: 043-247-1201

○安否確認の報告はこちらへ

ちば通研では、2014年度から安否確認訓練
をしています。最近、災害はいつ起きてもお
かしくない状況です。そのため、会員の安否確
認をよりスムーズにするため、専用のフォーム
を開設しました。

災害の時は、自分から

アクセスして状況を

ちば通研に報告してください。

<https://forms.office.com/r/5bav1TCt53>



あ と が き

新年度になりました。4月20日(日)の定
期総会では、昨年度の総括と今年度の活動方
針や活動計画等を議論し決定します。定期総
会議案書は4月7日に発送します。出欠葉書
はデータ配信を希望していない方だけ同封し
ています(データ配信を希望されている方は
定期総会の案内やHPをご覧ください)。出欠
の回答及び委任状の提出は、4月16日(水)
必着です。是非、ご出席ください!(K)

今まで歩いて3分くらいのスーパーでさえ
車で移動していた私ですが体力の衰えと健康
のためになるべく歩くことにしました。時間
がないとできませんが歩くと発見もありいい
ものです。今は木蓮の花が満開、桜の蕾も膨
らんでいます。ちょっと年より臭いですが…
新年度は心も新たに小さな目標を立てました
「歩こう!」(本当に小さい笑笑…)ピカピカ
の一年生のような気持ちで頑張ります(S)